

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	学年	1学年
学科	全学科	コース		教科書	家庭基礎 明日の生活を築く（開隆堂）		
副教材	2023生活学Navi（実教出版） 調理実習ノート基礎編（愛媛県高等学校家庭科教育研究会）						
学習目標	・生活を主体的に営むために必要な知識を理解し、それらに係る技能を身に付け実践できるようにする。 ・生活の中から問題を見つけ、課題を設定し、解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、課題解決に主体的に取り組む態度を養う。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知技	思考表	主体	
1学期	4月	A1 青年期の自立	・青年期の課題や将来を見通したこれからの生き方について考え理解する。	◎	○		
		A2 家族・家庭	・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことについて考え、工夫する。	○	◎	○	
	5月	A3 子どもの生活と保育	・子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組む。	○	○	◎	
	6月	A4 高齢者の生活と福祉	・高齢者を取り巻く社会環境や自立支援、介護について理解し、基礎的な技能を身に付ける。	◎	○		
	7月	A5 共生社会を生きる	・社会の一員として課題を設定し、解決策を考察する。		◎		
		D ホームプロジェクト	・家庭における課題に気づき、よりよい家庭生活に向けて工夫する。		○	◎	
2学期	8月	B2 衣生活と健康	・安全で健康や環境に配慮した被服の管理について課題を設定し、解決策を考え考察する。 ・被服の管理に必要な技能を身に付ける。	○	◎	○	布小物製作を行うが、裁縫道具は学校にあるものを使用する。 調理実習を行うので、三角巾、エプロンを準備する。
	9月						
	10月	B1 食生活と健康	・食事の重要性、栄養素の機能、商品衛生、食と環境とのつながりを理解する。 ・食品の調理上の性質を理解して、目的に応じた調理をする。	◎	○	○	
	11月						
	12月	B3 住生活と健康	・防災などの安全や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定する。	○	◎		
3学期	1月	C1 生活を支える経済	・生活における経済と社会とのかかわり、家計管理について理解する。	◎	○		
	2月	C2 消費行動と意思決定	・自立した消費者として、生活情報を活用し適切な意思決定に基づいて行動することについて解決策を構想し、体験を通して考察したことを表現する。	○	◎	○	
	3月	C3 持続可能なライフスタイルと環境	・よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	○	○	◎	

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	定期考査、小テスト、振り返りシート、ワークシート、ノート提出、実習評価、平常の取組などによる総合評価
------	--